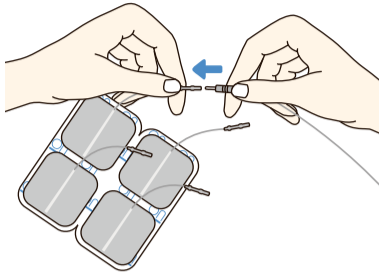


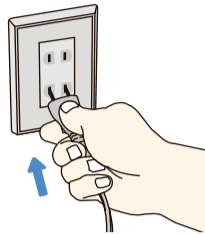
低周波治療の操作方法

1 低周波接続コードと粘着パッドA (Mタイプ)をセットする。



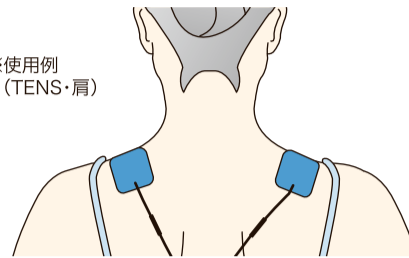
2 本体の電源プラグをコンセントへ差し込み電源を入れる。

※電源を入れる前に、出力ツマミを必ず「0」にしてください。

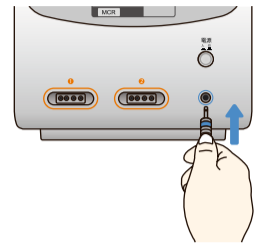


3 セットした粘着パッドAを、下図を参考に素肌に貼り付ける。

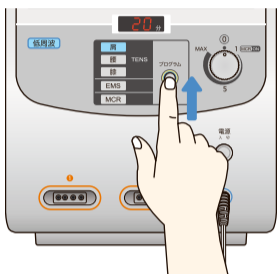
※使用例 (TENS・肩)



4 低周波接続コードのプラグを青色のラインが見えなくなるまで、奥に差し込む。



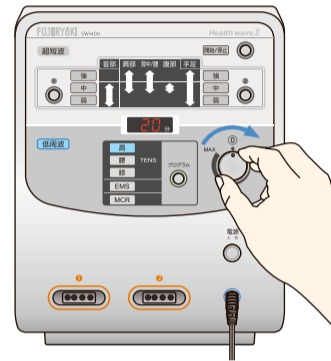
5 低周波プログラム選択スイッチにより治療項目を選択する。



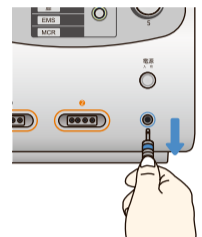
6 出力ツマミを、「0」の位置から好みの強さまでゆっくりとまわす。

〈低周波出力ツマミについて〉

低周波出力ツマミが「0」の位置にない場合は、「0」スタート表示が点滅してブザーが鳴り、出力されないようになっています。低周波出力ツマミを「0」の位置に戻し、「0」スタート表示が消灯したことを確認してからツマミをゆっくりと時計まわり方向にまわし、出力をあげてください。



7 終了したら、出力ツマミを「0」に戻し、低周波接続コードのプラグを本体から抜く。



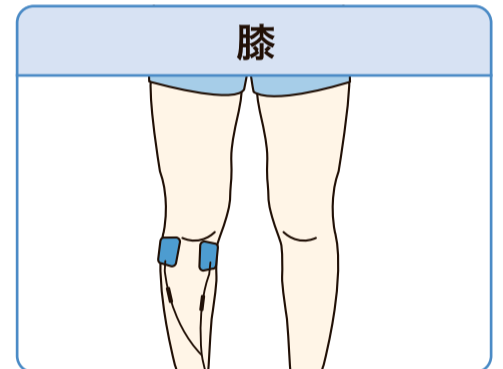
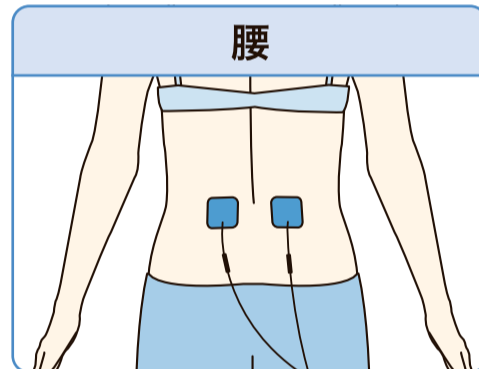
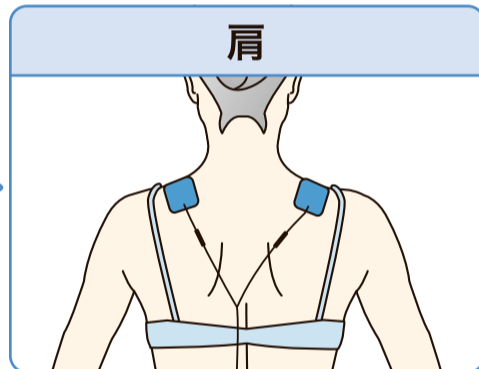
低周波治療の基本的な使用例

TENS (テズ)

Transcutaneous Electrical Nerve Stimulation (経皮的神経電気刺激)の略。

身体を心地よく刺激し、リラックスさせる効果があります。

- 出力の目安 / 気持ち良いと感じる強さ
- 治療時間 / 20分
- 1日の治療回数 / 1~2回

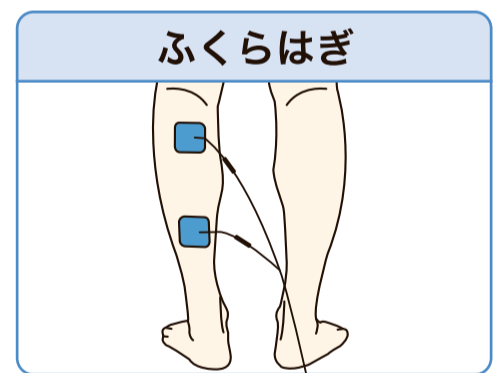
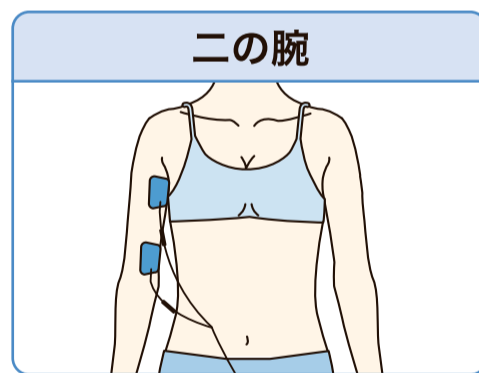
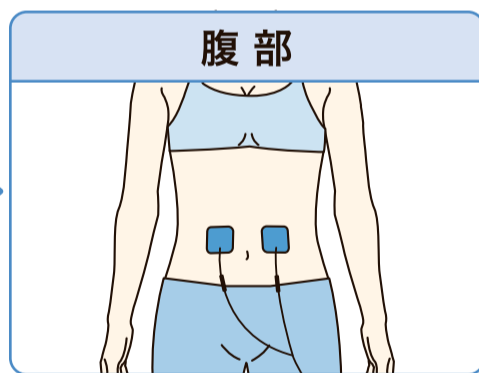


EMS (イーエムエス)

Electrical Muscle Stimulation (電気筋肉刺激)の略。

筋肉を実際の運動のように刺激し、身体の気になる部分の筋肉トレーニングに効果を発揮します。

- 出力の目安 / がまんでできる範囲の強さ
- 治療時間 / 20分
- 1日の治療回数 / 1~3回

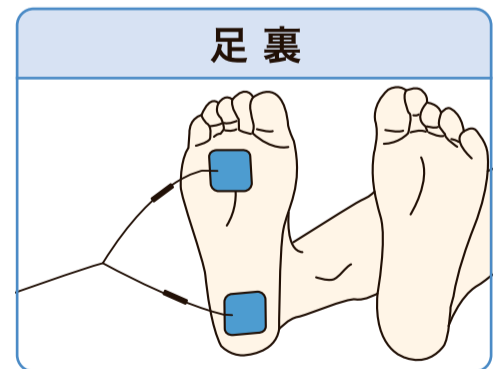
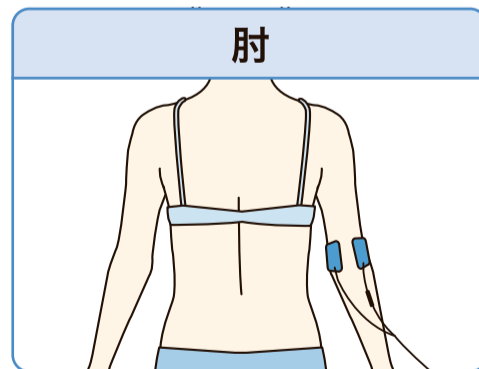
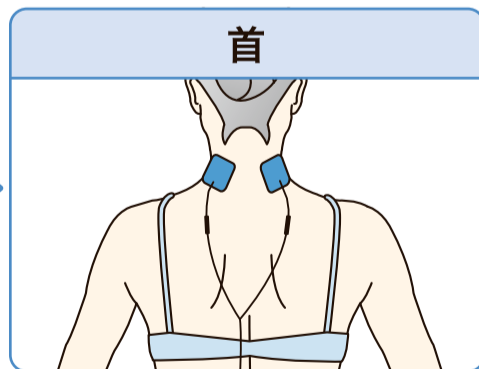


MCR (エムシーアール)

Microcurrent (微弱電流)の略。

人間の身体にある弱い電流に良く似た微弱電流を使用し、筋肉や関節のトリートメントにも効果があります。

- 出力の目安 / 体感はほとんどありません (出力は一定です)
- 治療時間 / 60分
- 1日の治療回数 / 1~2回



警告 粘着パッドAについて

- 粘着パッドAは消耗品です。
- 湿布やばんそうこう等の粘着物によりかぶれやすい方は、注意してご使用ください。かぶれたり、赤くなったりすることがあります。
- 傷のある部位には使用しないでください。
- 皮膚が荒れたり、火傷・炎症等をおこした際は直ちに使用を中止してください。
- 粘着パッドAを使用した際に、発疹・発赤・かゆみ等が現れたときは直ちに使用を中止し、ご購入先またはお客様相談

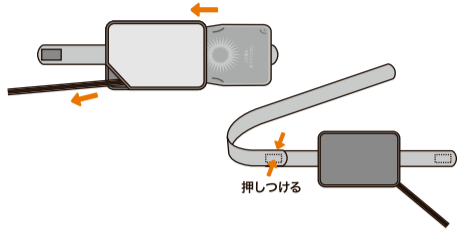
窓口にご相談ください。

- 粘着パッドAを使用する時、金属物(ネックレス、ベルト、時計など)と重なったり、触れたりしないよう注意して貼ってください。また、粘着パッドAは互いに重ならないように貼ってください。
- 粘着パッドAを貼り付ける際には、必ず皮膚に密着させてください。場合によっては火傷等の皮膚障害をおこすおそれがあります。
- 皮膚にローション、オイルなど化粧品が残っている場合、または汗や皮脂で皮膚が汚れている場合は、粘着パッドAの粘着力が低下し、付きにくくなります。皮膚を石鹸でよく洗い完全に乾かしてから貼り付けてください。

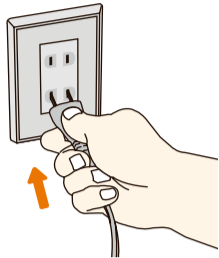
- 粘着パッドAを皮膚から剥がすときは、必ず本体の電源スイッチを切ってください。
- 使用期限の切れたものや、粘着力が低下した粘着パッドAの使用はおやめください。テープ・バンド・下着等で固定して使用しても、適切な効果が得られないばかりでなく、急激に強い刺激がかかったり、場合によっては火傷等の皮膚障害をおこすおそれがあります。
- 安全に製品をご使用いただくために、製造元で品質管理を実施しております純正の粘着パッドAをご使用ください。模倣品の使用が原因で発生した火傷事故・故障・その他の不具合等につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

超短波治療の操作方法

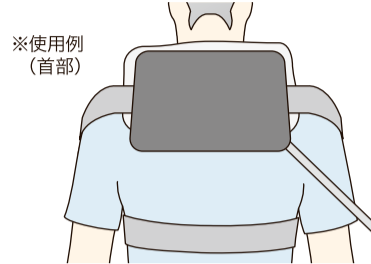
1 超短波導子をベルト付導子カバーに入れ、必要によりマジックベルトを取り付ける。



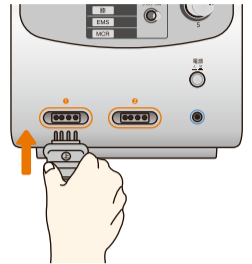
2 本体のプラグをコンセントへ差し込み電源を入れる。



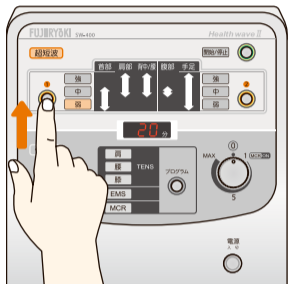
3 超短波導子を、下図を参考に体に取り付ける。



4 超短波導子のプラグを、本体に差し込む。

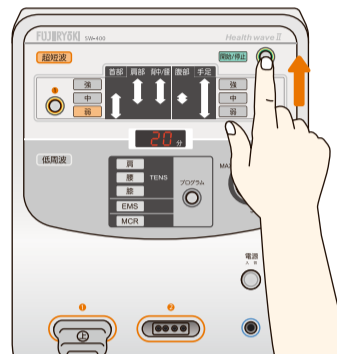


5 出力レベルを選択する。

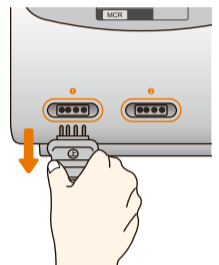


6 超短波治療開始/停止スイッチを押して、治療を開始する。

※治療中に超短波出力レベルを変更する場合は、超短波出力選択スイッチを押して出力レベルを選択します。
※超短波導子を1chのみ使用して治療を行なっている場合、途中でもう一方の導子を出力口②に差し込んでも認識されません。



7 終了したら、超短波導子のプラグを本体から抜く。



超短波治療の基本的な使用例

<p>首部</p> <p>背骨を中心に頸部の裏側へ導子を当ててください。</p> <p>○出力レベル/弱～中 ○治療時間/ 20分 ○1日の治療回数/ 1～2回</p>		<p>肩部</p> <p>肩甲骨の上に導子を当ててください。</p> <p>○出力レベル/中～強 ○治療時間/ 20分 ○1日の治療回数/ 1～2回</p>		<p>背中</p> <p>肘の高さに導子の底辺がくるように当ててください。</p> <p>○出力レベル/中～強 ○治療時間/ 20分 ○1日の治療回数/ 1～2回</p>	
<p>腰</p> <p>背骨を中心として腰に導子を当ててください。</p> <p>○出力レベル/中～強 ○治療時間/ 20分 ○1日の治療回数/ 1～2回</p>		<p>腹部</p> <p>おへその真上に導子がくるように当ててください。</p> <p>○出力レベル/中 ○治療時間/ 20分 ○1日の治療回数/ 1～2回</p>		<p>手足</p> <p>手足に導子を当ててください。</p> <p>○出力レベル/弱～強 ○治療時間/ 20分 ○1日の治療回数/ 1～2回</p>	
<p>膝</p> <p>膝に導子を当ててください。</p> <p>○出力レベル/弱～強 ○治療時間/ 20分 ○1日の治療回数/ 1～2回</p>		<p>ふくらはぎ</p> <p>ふくらはぎに導子を当ててください。</p> <p>○出力レベル/弱～強 ○治療時間/ 20分 ○1日の治療回数/ 1～2回</p>		<p>足裏</p> <p>足の裏に導子を当ててください。</p> <p>○出力レベル/弱～強 ○治療時間/ 20分 ○1日の治療回数/ 1～2回</p> <p>※知覚障害のある方は、必ず医師と相談してご使用ください。</p>	

⚠ 超短波導子を使用する際の警告

下記の点に注意して、正しく導子を使用してください。

- 導電性の衣類を着用して治療しないでください。
- 使い捨てカイロやネックレス、ベルトなどの金属類は体から外してください。
- 導子は素肌の上から直接あてないでください。必ず乾いたタオルや服の上からあててください。
- 電位治療器(高周波・負荷を含む)などで使用する電床マットの上では、絶対に治療しないでください。
- 治療する時は皮膚の汗などを拭いてください。
- 濡れている導子は使用しないでください。
- 治療前にスイッチ等进行操作し、治療器が正しく作動するか

確認してください。

- 2つの導子を使う場合は、導子を重ね合わせないでください。また、2つの導子コードが絡み合ったり、巻きついたりしないようにしてください。
- 2つの導子で2人を同時に治療しないでください。
- 2つの導子で同じ部位を治療しないでください。
- 導子は必ずマジックベルトで固定してください。
- 治療中に超短波導子やコードに触れないでください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。
- 厚手の衣服やタオルを厚めにして使用した場合、温感が感じにくい場合があります。
- 足首や膝を合わせた状態で左右両側から導子をあてる治療は、絶対しないでください。タオルなどをあてがっても左右の足が触れることがあり、接触部に火傷を起こす可能性があります。

美と健康の総合メーカー
株式会社 **フジ医療器**
〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階

お客様相談窓口のご案内

フジ医療器フリーダイヤル
0120-027612

受付:月曜～金曜 午前9時～午後5時30分
※但し、土日祝日、年末年始は休ませていただきます。